

ランサムウェアPhobos/8Baseによる暗号化被害データに関する復号ツールの 開発について

1 復号ツールの概要等

関東管区警察局サイバー特別捜査部において、世界各国で少なくとも2,000件の被害が確認されているランサムウェアPhobos/8Baseによって暗号化された被害データを復号するツールを開発し、令和7年6月、警察庁サイバー警察局からユーロポールに提供した。

この度の情報発信については、世界中の被害企業等の被害回復が可能となるよう、日本警察が米国FBIの協力を得ながら復号ツールを開発し、日本警察とユーロポール、米国FBIにおいて、同ツールの有意性が実証されたことから、ランサムウェア対策を世界規模で進め、その活用を促す観点から実施することとしたものである。

2 日本警察の今後の対応

日本国内の被害企業等に対して、最寄りの警察署等への相談を促すと共に、相談があった場合には、その求めに応じ、復号ツールを活用して被害回復作業を実施することとしている。